

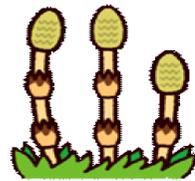
はなえくぼ扶桑便り No.41

令和3年4月1日 発行
(株) ニーノコーポレーション
扶桑町大字齊藤字緑223
(0587) 93-7833

『美味しくな〜れ』

先日「ご近所さんから頂いたから」とスタッフが土筆を持ってきてくれました。早速一人の利用者様に袴をとって頂いていると、後から来られた方がニコニコして、同じように袴取りをしてくださいました。卵とじをして昼食の一品に加えさせて頂くと「おいしかったよ」と喜んで頂くことが出来ました。季節を感じる温かい届けものに感謝です。

いつも利用者様に野菜カット・盛り付け等々とお手伝いをお願いしたりします。そのたびに学ばせて頂くことが多く、それがとっても楽しみです。食事が終わって「美味しくかったよ」と言って頂けることが大いには励みになります。皆様の笑顔を沢山見せて頂けるように、毎日のお食事「美味しくな〜れ」「美味しくな〜れ」



はなえくぼ扶桑 介護職員 S. K

『はなえくぼ扶桑 春の外出祭り』

春になりました。気持ちも軽やかになってきましたね。そんなある日。

「何か好きなものを食べに行きませんか？」と声をかけて、外出祭りが始まりました。まずはお寿司です。やっぱり御馳走といえばお寿司です。次の方のご希望は「いいお店のエビの天ぷら！」でした。出かけてみると、お寿司を注文されました。やっぱりか……。



『桜がやってきた』

桜の枝を頂きました。頂いたときにはほとんどが蕾で、「いつ満開になるのでしょうか」と皆さんと楽しみにしていたのですが、次の日には満開になっていました。とても綺麗です。近くを通るたびに「きれいな」と声が漏れます。ちょっとした花見気分が味わえるのです。はなえくぼ扶桑では今年の3月から「花いっぱいプロジェクト」に勝手に参加しています。これからも勝手に参加し続けようと思っています。花を見ていると、一瞬時間が止まったような感覚になるのですが、私だけですかね。



『災害への備え』

3月になると、いつも以上に災害について考えます。そして、思い出すことがあります。神戸での早朝炊き出しの時、はだしで並んでいた小さな女の子。犬を連れていて避難所に入れなかった女性とその犬くん。東海豪雨の後、庭先の犬小屋の前に手向けられた小さな花束。そして、何もできなかった3月。自然災害から逃れられないのであれば、備えるしかない。パン、カレー、羊羹、乾電池、充電器、おむつ、薬。消耗品については、使いながら蓄えていく方法をとっています。そして、避難場所へ行くべきか、施設に残るべきか。被災者でもある職員がはなえくぼ扶桑に集まること出来るのか。会議で話し合いをしました。話しても、話しても、「これで大丈夫」という結論はなかなか出ません。出ませんが、想像し、話し合いを続けるしかありません。そうしているうちに、覚悟のようなものが出来てくるのだと思います。物資の備蓄と職員の覚悟。どちらも大切です。

『閉じこもりと認知症』

コロナ禍で出かける機会が減り、家の中で過ごす時間が増えていましたね。閉じこもってしまうことと、認知症とは少しかわりがあります。一人の時間が増えたり、家族とだけ過ごす時間が増えたりすると、会話の内容が限られたりして、話が広がらなくなってしまいます。そうすると、日常的に使う言葉が限られてきます。また、生活自体にも刺激が減ったり、他人に気を使うという経験も減ってきたりすることで、認知症が進んでしまうことが考えられます。もともと認知症の症状があった方の不安や、被害妄想などが家族に向けてしまうことがあり、辛い思いをしてしまうこともあるかもしれません。

これから暖かくなってきます。感染予防をして出かけてみましょう。おいしいものを静かに食べに行くのもいいかもしれません。お散歩にもいい季節です。人混みを避け、1人か2人くらいで。出来れば目的を持ってお散歩して頂くとよいです。「公園の桜を見に行こう」とか「美味しい和菓子を買に行こう」とか。まだまだ長い戦いになりそうです。感染予防をして、閉じこもりすぎないようにしてください。



今回は、はなえくぼひくみ便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398
(0587) 91-0110
グループホームはなえくぼひくみ
犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1
(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小机町長者毛西132番地
(0587) 52-3808
はなえくぼのホームページ
www.gh-hanaekubo.com
ブログも時々更新しています